

## 第6次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏

### 圏域別取組の実績と今後の課題

1. 生活習慣病予防からはじめる健康づくり (1-1 ~ 1-12)
2. 小児救急医療 (2-1 ~ 2-8)
3. 精神疾患医療 (3-1 ~ 3-8)
4. 親と子の保健対策 (4-1 ~ 4-8)
5. 健康危機管理体制の整備充実 (5-1 ~ 5-3)

この資料は医師会・市から回答いただいたものと保健所分を圏域別取組ごとにとりまとめたものです。

第6次計画(H25～29年度)の評価と7次計画(H30～35年度)に向けての課題

【生活習慣病予防から始める健康づくり】

主な取組	実施主体	A 充分達成	B 概ね達成	C やや不十分	D 不十分
①特定健診・各種がん検診等受診率の向上と特定保健指導の充実	所沢市医師会				
	入間地区医師会		○		
	飯能地区医師会		○		
	狭山市医師会	○			
	所沢市			○	
	飯能市		○		
	狭山市		○		
	入間市			○	
	日高市			○	
	狭山保健所		○		
②特定健診・保健指導の体制整備の支援と実務者の育成	所沢市医師会				
	入間地区医師会				
	飯能地区医師会		○		
	狭山市医師会		○		
	所沢市			○	
	飯能市			○	
	狭山市			○	
	入間市				
日高市			○		
狭山保健所		○			
③地域・職域保健の連携推進	所沢市医師会				
	入間地区医師会		○		
	飯能地区医師会		○		
	狭山市医師会		○		
	所沢市	○			
	飯能市				
	狭山市			○	
	入間市				
日高市				○	
狭山保健所		○			
④糖尿病対策の推進	所沢市医師会				
	入間地区医師会	○			
	飯能地区医師会		○		
	狭山市医師会	○			
	所沢市		○		
	飯能市		○		
	狭山市			○	
	入間市	○			
日高市			○		
狭山保健所		○			
⑤健康づくりに関する知識の啓発普及	所沢市医師会		○		
	入間地区医師会		○		
	飯能地区医師会		○		
	狭山市医師会		○		
	所沢市	○			
	飯能市		○		
	狭山市			○	
	入間市		○		
日高市			○		
狭山保健所		○			

第6次計画(H25～29年度)の評価と7次計画(H30～35年度)に向けての課題

【小児救急医療】

主な取組	実施主体	A 充分達成	B 概ね達成	C やや不十分	D 不十分
①小児救急医療体制の 充実・強化	所沢市		○		
	飯能市		○		
	狭山市			○	
	入間市			○	
	日高市			○	
	狭山保健所				○
②子どもの急病等に関 する情報提供の強化	所沢市		○		
	飯能市		○		
	狭山市		○		
	入間市		○		
	日高市		○		
	狭山保健所			○	
③小児救急医療を 検討するネットワークの 機能強化	所沢市		○		
	飯能市				○
	狭山市			○	
	入間市			○	
	日高市				○
	狭山保健所			○	

第6次計画(H25～29年度)の評価と7次計画(H30～35年度)に向けての課題

【精神疾患医療】

主な取組	実施主体	A 充分達成	B 概ね達成	C やや不十分	D 不十分
①精神疾患への正しい知識の普及	所沢市	○			
	飯能市			○	
	狭山市		○		
	入間市		○		
	日高市		○		
	狭山保健所		○		
②精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実	所沢市	○			
	飯能市		○		
	狭山市		○		
	入間市		○		
	日高市		○		
	狭山保健所		○		
③精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供	所沢市				
	飯能市				
	狭山市		○		
	入間市				
	日高市			○	
	狭山保健所		○		
④地域生活支援体制の強化	所沢市	○			
	飯能市			○	
	狭山市		○		
	入間市			○	
	日高市		○		
	狭山保健所		○		

第6次計画(H25～29年度)の評価と7次計画(H30～35年度)に向けての課題

【親と子の保健対策】

主な取組	実施主体	A 充分達成	B 概ね達成	C やや不十分	D 不十分
①妊娠・出産期からの 相談支援体制の強化	所沢市	○			
	飯能市	○			
	狭山市		○		
	入間市		○		
	日高市		○		
	狭山保健所		○		
②未熟児等への専門職 による家庭訪問の強化	所沢市	○			
	飯能市		○		
	狭山市		○		
	入間市	○			
	日高市		○		
	狭山保健所		○		
③児童虐待防止のため の連携体制強化	所沢市	○			
	飯能市		○		
	狭山市		○		
	入間市		○		
	日高市		○		
	狭山保健所		○		
④思春期対策の強化	所沢市	○			
	飯能市		○		
	狭山市				○
	入間市			○	
	日高市				○
	狭山保健所		○		
⑤研修体制の強化	所沢市	○			
	飯能市		○		
	狭山市		○		
	入間市		○		
	日高市				○
	狭山保健所		○		

第6次計画(H25～29年度)の評価と7次計画(H30～35年度)に向けての課題

【健康危機管理体制の整備充実】

主な取組	実施主体	A 充分達成	B 概ね達成	C やや不十分	D 不十分
①健康危機管理の情報収集、分析及び情報提供体制の充実	狭山保健所		○		
②健康危機管理関係機関のネットワークの構築	狭山保健所			○	
③自主管理体制、監視指導体制の整備	狭山保健所		○		

## 生活習慣病予防から始める健康づくり

【本調書の照会先機関】 医師会、市、保健所

【平成29年度実績の要約】

### ○医師会

- ① 特定健診・がん検診においては、受診率向上に努め、医療機関での案内等の充実を図った。
- ① 各種がん検診の精度管理向上のため、読影委員会、判定委員会を開催した。
- ③ 産業保健を対象とした啓発活動として、年間を通し医師による個別健康相談を実施した。
- ④ 市と協力し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを積極的に実施した。
- ⑤ 市民講座や健康まつりなどで健康づくりに関する普及啓発に努めた。

### ○市

- ① 特定健診受診期間の中間（9月）と終了間際（1月）を強化期間とし、ハガキや電話等で多角的なアプローチによる受診勧奨事業を実施した。
- ① 特定健診受診率の低い地域には早期に受診勧奨のチラシを配布、回覧した。
- ① 女性のがん検診受診率向上のため保育を設けたり、「レディースデーがん検診」を実施した。
- ② 特定保健指導は、土日開催や山間部での開催など利便性の向上を図った。一部を業者に委託するなど実施方法の見直しを行った。
- ③ 職域の分野においても市の保健事業を活用してもらえるよう労働基準協会の機関誌に情報誌を同封するなどして事業所に情報提供している。
- ④ 県との共同事業である「糖尿病性腎症重症化予防事業」に参加し、リスクの高い市民に対し、医療や保健指導に結び付けることができた。
- ④ 糖尿病予防教室などの各種教室や健康相談を開催した。
- ⑤ 各種健康教室やイベント（健康週間や健康まつりなど）において健康づくりに関する普及啓発を実施した。

### ○保健所

- ①②④⑤ 「効果的な保健指導実施支援事業」「地域保健セミナー」等を通し、各市の特定保健指導充実のための支援を行った。
- ③ 職域との連携として「働く世代の健康づくり研修会」を実施した。
- ⑤ がん検診県民サポーターの養成、受動喫煙防止対策の推進を通し、健康づくりに関する普及啓発を実施した。

【第7次計画で継続する場合の課題】

- 引き続き、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上
- 若い世代の特定健診、がん検診受診率の向上
- 健康づくりに関する知識の啓発普及は、ニーズに合わせたテーマの設定が必要
- 糖尿病対策の推進には、行政と医療機関の連携が必要
- 飲食店などにおける全面禁煙の拡大

## 小児救急医療

【本調書の照会先機関】市、保健所

【平成29年度実績の要約】

○市

- ①小児夜間急患診療・小児深夜帯急患診療、小児科日曜日・休日急患診療などの診療を実施している。
- ①地区医師会に委託し、祝休日・夜間診療所を開設している。
- ①2市合同で夜間の初期救急診療を実施した。
- ①所沢地域においては「小児救急医療病院群輪番制病院運営事業に係る連絡会議」で小児救急の課題の確認と情報共有を図った。
- ②情報メール配信サービスや広報誌、市のホームページ等において子どもの急病等に関する情報提供を行った。
- ②スマートフォン用アプリを活用し、救急時の医療機関や小児救急電話相談（#8000）のPRを行った。

○保健所

- ①空白日となっている日曜日の小児二次救急輪番病院の解消にむけ、医療機関への働きかけを行った。
- ①「小児救急医療病院群輪番制病院運営事業に係る連絡会議」を開催し、現状と課題について情報交換を行った。
- ②保育所職員等への支援として小児救急看護認定看護師を講師として研修会を実施した。
- ②健康まつりにて救急電話相談（#7000、#8000）の普及啓発を実施した。
- ③所沢地区救急医療対策協議会を開催し、地区における救急医療の課題について協議した。

【第7次計画で継続する場合の課題】

- 空白日となっている日曜日の小児二次救急輪番病院の確保
- 小児二次救急輪番病院の安定的な運営に向けての協議
- 休日や夜間における適正受診のための普及啓発の強化



## 精神疾患医療

【本調書の照会先機関】市、保健所

【平成29年度実績の要約】

○市

- ①こころの健康に関する講座や講演会、各種疾患の「つどい」を実施した。
- ①障害者週間や自殺予防週間に合わせたキャンペーンの実施。
- ①自殺対策事業の一環としてゲートキーパー養成研修を実施した。
- ②保健師や精神保健福祉士による個別相談、精神科医師による「精神保健相談」の実施。
- ③訪問や相談に伴い、必要に応じ受診勧奨や受診同行を実施した。
- ④精神障害者アウトリーチ事業、地域生活支援事業、自立支援協議会、ソーシャルクラブ等の各種事業を実施した。

○保健所

- ①県民を対象とした「ひきこもり公開講座」、相談関係者を対象とした「自殺対策研修会」「関係者向け研修会（アルコール依存症）」を実施した。
- ②保健師や精神保健福祉士による個別相談・家庭訪問、精神科医師による精神保健相談、ひきこもり相談の実施。
- ②ひきこもり家族のつどい、アルコール依存症当事者・家族のつどいの実施。
- ③精神科受療への緊急介入、支援及び精神科受診や受療の要否に係る電話相談の実施。
- ③事例検討会の実施。
- ④精神障害者地域移行支援事業保健所連絡会を実施し、ピアスタッフの活動報告や事例検討会を実施した。

【第7次計画で継続する場合の課題】

- こころの健康に関する市民のニーズを把握し、講座や講演会等の事業を実施する必要がある。
- 学齢期・思春期の精神保健教育による精神疾患の正しい知識の普及。
- 法改正に伴う措置入院者の退院後地域生活支援を含む精神障害者の地域包括ケアシステムの構築が必要となる。

## 親と子の保健対策

【本調書の照会先機関】市、保健所

【平成29年度実績の要約】

○市

- ①子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から出産期における相談支援体制の充実を図った。
- ②未熟児養育医療受給者に対する訪問支援の実施。
- ③乳幼児健診未受診者への受診勧奨を強化し、通知や家庭訪問を実施した。
- ③要保護児童地域対策協議会や特定妊婦受処理処遇会議など、関係機関との連携強化によりハイリスク者の精査を図った。
- ④県内医療機関からの養育支援連絡票によりリスクのある家庭に対する訪問につなげた。
- ④市内の中学校に対する「育児体験学習」や助産師による「生命の大切さ」の講義等を実施した。
- ④学校保健との連携強化を目指し、養護教諭連絡会で市の保健医療計画を周知した。
- ⑤県主催の研修会や外部研修会への参加。
- ⑤スーパーバイザーを招いてのケースカンファレンス、職場内OJTの実施。
- ⑤地区担当制による地区診断からの保健活動による取り組み。

○保健所

- ①「妊娠期からの虐待予防強化事業看護連携会議」の開催。
- ②「産後の母親のメンタルヘルス支援」研修会の実施。
- ③「母子保健連絡調整会議」の開催。
- ⑤「ふれあい親子支援事業」による事例検討会等の実施。

【第7次計画で継続する場合の課題】

- 支援が必要な家庭を早期に把握し、適切な支援体制を構築すること
- 家庭訪問による母子への保健指導の標準化を目的とした関係職員のスキルアップ
- 児童虐待防止のための関係機関との連携強化と情報共有
- 学校保健との連携

## 健康危機管理

【本調書の照会先機関】保健所

【平成29年度実績の要約】

○保健所

- ①医療機関、飲食店、保育所、福祉施設等に対しノロウイルスや結核など感染症に関する研修会を開催し情報提供した。
- ②災害時における医療提供体制の確保と関係機関の連携強化を目指し、県、市、消防等の職員を対象にシミュレーション訓練を実施した。
- ②災害時における医療機関の情報共有を目的とし、EMIS(広域災害救急医療情報システム)の入力訓練及び市の防災担当者向け EMIS 操作訓練を実施した。
- ③食中毒防止のため自主衛生管理を推進する「彩の国ハサップガイドラインリーダー」を養成した。
- ③食品衛生自主管理が優良である施設を行政が確認し、公表する制度を支援した。監視指導については計画的に営業施設に立ち入り、実施した。

【第7次計画で継続する場合の課題】

- 研修会受講者から未受講者への伝達等を行い、施設全体として共通認識を持ち、感染対策を講じることが必要である。
- 各施設の実情に合わせ、実践的な研修を実施する。
- 災害発災時のシミュレーション訓練は、想定される業務や連携について関係機関が繰り返し学ぶ必要がある。
- 食中毒等を予防するため、食品衛生に関する自主管理の徹底を図る。